第2学年　教科名 音楽

学習の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。

教科の目標と学校教育目標を達成するために目指す授業

⑴　曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする授業
⑵　音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする授業
⑶　音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う授業

学習の仕方

◇声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫し、合唱のよさや豊かさを味わう。
◇曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、オーケストラの豊かな表現に親しむ。
◇曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫し、我が国で長く歌われている歌曲に親しむ。

学習を効果的に進めるためのお願い

〈年間を通して〉
①活動は積極的に、話は集中して聴く「切り替える力」を身に着けよう。
②ワークシートは考えを深めるためのものです。自分の考えや友の意見をメモし、積極的に追求しよう。
③歌唱では、適切な音域と声量で歌おう。

年間の指導計画

学期	
1学期	歌唱・校歌 ・浜辺の歌 ・学年合唱曲 鑑賞・交響曲第五番ハ短調 ・ジャズ 創作・リズムアンサンブル
2学期	歌唱・学年合唱曲 ・クラス合唱曲 器楽・ギター
3学期	歌唱・卒業式式歌 器楽・箏 鑑賞・展覧会の絵
授業時数　35時間	

観点別評価と評価の観点、評価方法

（知識・技能）

曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。
創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。

・・・授業の様子、発表、定期テスト

（思考・判断・表現）

①音楽を形作っている要素や要素同士の関連を近くし、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、近くしたことと感受したこととのかかわりについて考え、②どのように表すかについて思いや意図を持ったり、③音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。

・・・授業の様子、発表、定期テスト、ワークシート

（主体的に授業に取り込む態度）

音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

・・・授業の様子、発表、ワークシート

A＝十分に満足できると判断
B＝おおむね満足できると判断
C＝努力を要すると判断